



# ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けする「コーナー」です。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：  
市内永田町一―100 市広報広聴課 電話 五―0133 内線三六三

締め切りは毎月十五日です。

市長への  
手紙から

## ごみのパトロール車で 清潔なまちに

このコーナーは市長への手紙をお寄せくださった人の中から、意見・要望・提言などを紹介します。今回は、伝法の依田秀子さんの「ごみのパトロール車の設置」についてです。（市長への手紙は、各公民館などに備え付けられています）

〈市長への手紙〉  
一市民として「富士市は豊かな割に文化水準が低いな」と感じてしまうときがあります。殊に、ごみの不法投棄や大通りに散らかるごみなどがそうです。これでは、いくら道路をきれいにしようと、よい木を植えようと、ごみのおかげで、すべてが台なしになります。



依田秀子さん

どうか、ごみの定期収集以外に大通りを毎日パトロールできる収集車をぜひ用意してください。ごみの量は生活文化のパロメーターです。ですから、街の道路にごみの散乱がなければこそ文化都市と言えるのではないのでしょうか。

### マナーの向上を 呼びかけます

〈市長の答え〉  
市長への手紙ありがとうございます。私も御意見のとおり、ごみのない清潔なまちづくりは、とても大切なことと考えています。そこで、一昨年からは第一清掃工場に散乱ごみのパトロール班（収

集車一台）を設置しました。これは、不法投棄や散乱防止のパトロールを実施し、随時、清掃作業も行っていきます。

また、市民の皆さんの協力やボランティアなどによる環境美化への取り組みも行われています。道路のごみは自動車からのポイ捨てが多く、市外のドライバーによるものもあるので広域的な問題にもなっています。散乱ゴミをなくすには、一人ひとりがごみを捨てないというマナーを守ることが、最も基本的なことだと思います。そのため、より一層の啓蒙を行ってまいります。



△国一バイパスと富士見大通りの交差点

3月25日から4月10日まで小潤井川で「第1回桜まつり」を運営

はやし 林 寿弘さん  
荒田島(48歳)



伝法・吉原地区を流れる小潤井川の警察署跡地西側から国道一号までの区間は、知る人ぞ知る桜の名所。川の両岸には大小約百二十本の桜が咲き、川の流れと花が醸し出す風情は人々を魅了します。林さんは「このすばらしい水辺や自然を生かしたまちづくりができ



ないだろうかと考え、吉原地区のまちづくり会議で桜まつりを提案しました。

何せ初めてのことに。ましてや正式決定がことしの二月とあって準備はとても大変でした。交通規制からトイレの設置、果ては酔っぱらいの心配までね」と大きい体を揺すって笑います。

川を舞台にした祭りということとで、行政も市の河川課が協力していますが、運営はもっぱら住民が主役。「祭りの主眼はあくまで地域の「コミュニケーションづくり」と語る林さんは、吉原地区のとても頼もしい縁の下の力持ちと思われました。